

3.どのように優生手術が行われていたのか

聞こえない人に対して、優生保護法の下、どのように優生手術が行われていたのでしょうか？ ひとそれぞれというのが実際ですが、多くの人に同様の傾向がありました。その例をみてみましょう。



※当時はだまして手術を受けさせることも合法だとされていました。手話通訳者もおらず、何を言われているかわらず、聞こえる人に従わざるを得ませんでした。また、親も法律に従わざるを得ない状況でした。



※当時、ろう学校の先生などが保護者に対して聞こえない子どもに不妊手術を受けるよう勧めていたのです。また、周りに手話で相談できる人もおらず情報が乏しく、ろう学校の先生に言われるままに中絶手術を受けたのです。